

島田市都市計画マスタープラン 地域別タウンミーティング（大津地域）

議 事 要 旨

◆日 時：令和元年8月23日（金）19：00～21：00

◆場 所：大津農村環境改善センター 大会議室

◆出席者：地元住民：36名

市役所職員：戦略推進課長

建設課長

農林課長 他1名

生活安心課長 他1名

教育総務課長

市民協働課長

事務局：都市政策課長 他2名

◆会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 都市計画マスタープランの資料説明
 - (2) 意見交換
 - (3) グループワーク
～わたしの考える“大津地域の未来”～
4. 連絡事項
 - ・今後の予定
5. 閉会

◆配布資料

- ・資料1 島田市都市計画マスタープラン 全体構想原案【概要版】
- ・資料2 第7章 地域別構想（大津地域）

■議事要旨

(1) 都市計画マスタープランの資料説明

(事務局)

(説明)

(2) 意見交換

(市民)

農業振興地域の方針について、島田市農業振興地域整備計画とどれだけ調和しているか説明してほしい。

(農林課長)

農振法に基づき5年に1度計画の見直しを行っている。まちなかの住居系・工業系等は用途地域、そのほかは農振地域となっており、大津地域はほとんどが農振地域となっている。農振地域の中でも、農用地とそうでないところがある。農用地は青地と呼ばれ、それ以外は白地と呼ばれる。農振法は、国が糧自給率を確保することを前提に農地を守るという考え方で、減反している農地や生産性の高い農地は守っていくという考え方となっている。高速道路が通ってインターチェンジができるなど、大きく経済要件が変わったときは計画を見直すことはある。現在の農業は厳しく、生産性も所得も上がらない状況で農業を受け継ぐことも難しく後継者も少なくなり継続が困難となり、耕作放棄地が増えたり、休耕するなど農業をやめたりする方もいるが、担い手の方に貸したり集積したりするなど、農地は農地として守っていく考えが基本である。

(市民)

法律の内容はわかったが、形式的な内容に聞こえる。島田市では農業振興地域整備計画があるので、農地を守るということであれば本マスタープランにも島田市農業振興計画の内容を記述するべきだと思う。

(農林課長)

市にも農振整備計画があるが、都市計画マスタープランに詳細な記述するものではなく、これに基づいた個別計画として位置づけている。

(事務局)

都市計画マスタープラン原案では、法律の名称しか載っていない。島田市にも農振整備計画はあるので、マスタープランでは農業振興地域の整備に関する法律に基づいた島田市農業振興地域整備計画による規制がかかる、と改めたい。

(市民)

活力・魅力づくりの方針で、総合公園の魅力の向上が書かれている。中央公園の総合スポーツセンターに関しての内容は良いと思うが、大津地区には多目的広場がありスポーツ広場という位置づけで市民の憩いの場とすると聞いている。マスタープランには位置づけられていないが、今後どうなるのか。

(事務局)

スポーツ広場については、大津地区ではなく大長地域の項目に記載している。

(市民)

大津地区から非常に近いし、大津からも多くの人が行くと思う。大長地区ではあるが大津地区にも関係があり、今後道路整備も必要であると思うため、大津地区のマスタープランでも記載してもらいたい。

(事務局)

大長地区と大津地区が重複する形で記載するかどうか検討する。

(市民)

農家とサラリーマンをしており、農地は作業を依頼している。家の周辺でも耕作放棄地が増えてきているため、今後どうなるかと思っている。農業を守るというのは、大変きれいな言葉であり、農地を守るという方針であると思うが、現実問題は見た通りの状態である。これをどうするか考えたときに、今までと同じように青地は青地のままで思ったが、本当にこの地区の放棄された農地が整備されるのか、20年先の話として同じようなことをやっていて良いのかと思った。農業生産者が減り、もっと環境が悪くなっていく中で、これまでと同じことをやっていって良いのかを検討してもらいたい。

(農林課長)

いろいろな方面から意見をいただいております、今の農地すべてそのまま守ることは無理だと思っている。耕作条件の悪い中山間地域は生産性も低く、そうした場所も農地として守るのかという意見もある。総合計画では、守るべき農地を守り、そうでないところは外すという考え方をしている。山の中腹でお茶を栽培していた場所も守るのは厳しいと思う。場所によってやむを得ない場所も出てくると思う。平坦な場所や生産性の高い場所をすべて守ると虫食い状態になってしまうことがある。国・県の農振地域から外す手続きがあるが、実施するのは難しい。条件・場所がそろえば転用することもあると考えている。

(市民)

すぐにできるとは思わないが、そういう考え方もあると思うようにする。

(市民)

大津地域の中山間地にある傾斜地のお茶農地は荒れている。平坦な水田地域でも耕作放棄地が増えている状況の中で、農業振興地域の水田地域は法律で保護する場所となっている。青地は青地のままにすると理解して良いのか。

交通の方針にある「(仮称)野田大草線などの主要道路の整備について県に働きかける」について、自治会が県土木事務所の所長と話したところ、以前はこういった計画もあったかもしれないが今はまったくない、と言われた。仮にこうした計画が市で持っているのであれば、現在地域で農業基盤整備について検討しているため反映させる必要があるが、どうなのか。

(農林課長)

除外する場合は、個別で具体的な計画がないとできない。場所や計画にもよるが、除外は厳しいと思う。

(建設課長)

(仮称)野田大草線の要望に行っていていただいております。要望はしているので、県土木事務所は認識しているが計画には上がっていないという状況だと思う。将来的な県道の

状況を考えれば、バイパスの必要性について理解してもらっていると思う。事業を進めるにあたっては、農業基盤整備を進め、県土木事務所と協議し、農業基盤整備で道路用地を創設する方法を模索し、土木事務所で用地を購入してもらって農道として使いながら将来的には県道としていくことを考えている。農業基盤整備を進めていけば、先が見えてくると思う。

(市民)

(仮称)野田大草線の計画ありきで考えるということが良いか。

(建設課長)

県計画なので計画ありき、ということはいえないが、計画を県と協議して基盤整備の中に入れていく方向で打ち合わせをしてもらえば結果が出るのではないかと思う。

(市民)

土木事務所は、川と並行して山が急峻な場所があるため、田んぼに道路を通す場合と比べた、コストとメリットを考えているのではないか。県道を考えるかどうかで計画づくりが変わってくる。

(建設課長)

土地改良計画を検討する中で、道路について県と協議すると思われる。その中で山の部分でもできるかどうか検討すると思われる。農地の中で土地を生み出すことを県に提案して、土地改良事業の計画を進めていただければと思う。

(市民)

現行計画をどのように進捗管理して、どう評価したのか。現行計画の評価から、次期計画にどうつながっているのか。期間が20年と長いため、実施計画を策定するのか。もしなければ、分野別計画の中で短・中・長期計画というような実施計画的なことを考えているのか教えてほしい。

(事務局)

現行計画の進捗状況と評価については、都市マスタープランは都市計画に関する基本的な方針を示すものであり、実行計画ではない。方向性を示すものなので、具体的に何をいつまでにやるというような計画はない。総合計画は、政策的に基本構想・基本計画・実施計画がある。都市マスタープランは、今後のまちづくりの方向性を示しているので、記載内容もどちらかという大まかな表現になる。そのため、現行計画についてどこが進捗しているのかという内容にはなっていない。それぞれの現況の中でも、具体的な計画があるものについては、景観計画を検討するというのであれば景観計画を策定したり、個別に病院の機能充実や総合スポーツセンターの整備について整理したりしている。

新計画へのつながりについては、現行計画と同様、将来に向けての方向性を示していくものとなる。

(市民)

これらの内容は目標ということだが、国土利用計画島田市計画では具体的なスケジュールが記載されているため、ただの目標ではないと思う。マスタープランは、この計画に基づいて作成されていると思うが、これらを精査・評価して新しい計画へ反映すると理解しているが違うか。

(事務局)

国土利用計画の直近のものは平成30年3月版になる。国土利用計画にも方向性は示しているが、何年までという記載はしていない。

(市民)

20年後の姿は、今までよりもっと予想しにくい。決して夢があるという印象はない。農村環境改善センターも、そのままの名称が使われている。コミュニティを中心とするなら例えば公民館のようなものを作って、文化発信をするセンターにすると良いと思う。20年後もそのまま残して使ってください、というのは話し合う必要があると思う。意見交換した内容は計画に反映されるのか。

(事務局)

地域別構想で、大津地域の将来像を示している。将来像について、市内部や中心地域で意見を聞き、原案として提案している。大津地域の方からも、地域の未来がどのようになって欲しいかをグループワークで意見をいただきたいと考えている。グループワークでは、これからのまちづくりについて、住民の方とも協働で自分たちに何ができるかについて話し合っていただけだと思う。

大津農村環境改善センターの名称については、条例で定められています。計画上の表現が変えられるかは検討します。また、本日出された様々な御意見は持ち帰って検討した上で、修正できるものについては修正していきたい。

(市民)

20年後の人口減少は、市全体は20%、大津地域は3%となっているが、この根拠はあるか。

(事務局)

人口推移は、島田市のまち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」の中で、各地域の人口推計を行っており、そこから出した数字になります。

(戦略推進課長)

少し前に消滅可能性都市という言葉があり、国立社会保障・人口問題研究所が推計して、島田市の人口が2060年に10万人から6万人になる可能性があるという報道があった。大津地区の人口は、その推計した結果を参考に市が推計した人口を「まち・ひと・しごと創生」人口ビジョンに乗せて引用したものになる。大津地区や六合・初倉地域が人口減少の幅が比較的少ない地域となっている。

(3) グループワーク「わたしの考える“大津地域の未来”」

- ・地域別構想の内容を踏まえ、グループごとに“地域の未来”がどうなって欲しいかを話し合い、地域のまちづくりへの期待や、地域の未来像のイメージを『未来カード』に記入した。
- ・地域別構想原案について、追加意見があれば『ご意見カード』に記入した。

《グループワークの結果（『未来カード』への記載内容）》

グループ	意見概要【わたしの考える“地域の未来”とは】
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・大津地区内の由緒ある史跡をクローズアップさせ観光客を集める ・葉っぱ事業のような、おじいちゃん、おばあちゃんがかせげる大津!! ・誰もが暮らしやすい歴史のまち大津 ・歴史文化をもう一度見直す ・高齢者の“いこい”の場所を増やす (E x. グランドゴルフ場、山王) ・協同農業で大規模化—地産地消 ・本材資源の活用 → プラに替わるもの ・文化・歴史で人が集まる ・歴史を活かした地域作り ・自然を活かした地域作り
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を活かし、町全体の活性化を図る、静岡空港があるのだから・・・ ・万人が安心して元気に住める街 ・農地・山地の保全 → 農業・林業を発展させる ・自然と歴史ある大津 ・安全に生活できるインフラ整備を希望する ・歴史に興味ある人はいます ・もう少し住宅地を増やして欲しい
Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用、青地・白地を見直し、有効な土地利用を! ・自治会による生活サービスの維持 ・他地域から来たくくなるような地区へ、又、 転入者をより良い状態で迎え入れられる地区に ・道路、移動手段、買い物環境整備に重点を置く ・免許返納しても困らない未来 ・安心・安全・快適な交通網作り

グループ	意見概要【わたしの考える“地域の未来”とは】
Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・野田インター周辺は中心市街地的な整備 ・インター以北は集落的な整理 農地の整備、維持管理→スマートアグリ ・バラの丘は中心市街地的整備 ・森林→市民の森的整備 ・高齢化が進んでも、町とのアクセスが困らない、コミュニティバス網の整備された地域になる事を希望します ・コミュニティバス網→路線、本数の充実した車の不要な社会になって欲しい ・老人ばかりになり子供の声がない町 ・今見える環境が継続されている 風の通る田んぼ、風にそよぐ竹林、整備された山林 ・大津地区のにぎわいの拠点（落合地区）が欲しい ・大津各川、西の田もいつまでも農業ができると限らないので道路は必要（宅地可） ・千葉山に行く道路の整備で、歩いて暮らすハイキング等が増える ・現在とあまり変わっていないと思うが、緑と鳥の声のする村が良い
Eグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・産業も農業も特に発展性のない地域 ・”住みやすい地域”として特色を出していきたい ・広場の整備が必要 ・高齢者、子供たちが気軽に利用できる体験型の自然公園・広場を整備する ・小中学生を対象にした自然体験や水生植物や水中植物を観察できる施設（ビオトープ等）を整備する ・農振地域に合った景観の保全 ・耕作放棄地の積極的整備 ・子供が安心して遊べる公園と駐車場の ・放棄地の再利用、使い手の見つけ、他利用の検討 ・道路、歩道の安全整備 ・自然を活用した人々が集まる施設（キャンプ場、グランドゴルフ場等） ・交通網の整備 ・丁仏参道（ハイキングコース）の整備して歩きやすいコースにして欲しい ・大津地区には公園というか広場がないように思います。荒れた茶畑、田んぼなどを利用して実現していただきたいと思います。

グループ	意見概要【わたしの考える“地域の未来”とは】
Fグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・時代にマッチングした土地利用 ・「自然との共生を考えたまちづくり」を売りにしてゆく、そのためにも防災を重視し安心して住める町に ・地域での共同農業（地産地消） ・子供達が自然にふれる（市外からの呼び込み） ・各町内会に緑地公園を作り、市民が集まり、スポーツ等でコミュニティを図る場所を作って欲しい ・子供から年配者まで自然の中で触れ合える大津地区 ・市街地と農業地のマッチング、調和 ・農業への担い手確保による国土利用 ・品格ある街づくりへの対応 ・実現ある具体的計画を ・緑豊かな住宅地及び農業公園・歴史公園化 ・大津各川の改修、道路整備 ・農業振興地域の見直し ・公共交通の充実

■『ご意見カード』への記載内容

地域別構想 に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・島田中心地と大津を一緒に位置づけるのは？ ・H22 では拠点「山王」となっている。小学校付近とした理由は？ ・H22 と同じ文面となっているところがある。あまり考えていないという印象
交通環境	<ul style="list-style-type: none"> ・野田大津線：実現性高いのか？ ・中央中河町線と中河町野田線がはなみずき通りで渋滞してしまうので、改善してほしい